

社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会
令和4年度事業計画

◎ 活動方針

- 1 新型コロナウイルス感染症が発生し、人々の日常生活は大きく変化しました。社会が大きく変わり始めた今この時こそ、真の共生社会の実現をしていく時です。また、1年延期して昨年開催された「東京パラリンピック競技大会」における障害のある選手たちの活躍が、人々の意識を大きく変え始めています。

障害がある人もない人も共に安心して暮らせる社会に向けて、私たち障害者自身が行動するとともに、行政と連携しながら活動することがより大切となります。

これからは、新しい生活様式が求められていることを認識し、会員の一層の団結と組織の強化を図りながら、障害者福祉の向上と社会参加を促進するための活動を展開していきます。

- 2 私たち障害者の切なる要望である「障害者の差別解消に向けての長野県条例」が令和4年3月に制定され、令和4年4月1日（一部10月1日）から施行されることになりました。

真に実効性のある条例とするためにも、条例制定の趣旨・目的や運用方針等を県民や事業者に広く周知することを、県に要望していきます。

また、障害者を取り巻く社会環境の変化などにより条例の見直し等が必要であるときは、条例の改正等の所要の措置を講ずることを、県に要望していきます。

- 3 障害者の社会参加の推進のためには、県民の理解をさらに深めていく必要があります。各種の取組みの中で諸活動を展開していきます。

また、日本身体障害者団体連合会をはじめ他の障害者団体とも連携し、国・県等の関係機関に、障害者福祉施策の充実等を要望していきます。

◎ 事業計画

- 1 相談員等の研修等

相談員の資質向上に向けて、障害者施策・相談支援等の研修会等を開催します。

- 2 身体障害者の福祉に関する啓発活動

身体障害者に対する県民の理解を得るとともに、会員自身の自立意識を高めるための啓発活動を推進します。

(1) 「第72回長野県身体障害者福祉大会」の開催

令和4年9月9日(金)千曲市更埴文化会館において、会員はじめ関係福祉団体・行政機関の関係者とともに大会を開催し、障害者の社会参加の促進と会員間の連携・組織強化を図ります。

また、この福祉大会において、身体障害者福祉の向上に寄与し、その功績が顕著な個人又は団体に対して、理事長表彰を行います。

(2) 機関紙の発行

本会の機関紙「こころの友」を年2回発行し、協会活動、制度の改正など各種の最新情報を提供します。また、会員の活動状況や投稿作品等を掲載し、紙面の充実を図ります。

(3) ホームページの充実

本会のホームページを活用し、障害のある人もない人も障害者福祉に関心をもてるよう、分りやすく適時適切な情報提供を図ります。

3 社会参加促進事業等の推進

県内障害者福祉団体の中心的団体として、「長野県障がい者社会参加推進センター」の運営に当たります。

(1) 障害者の社会参加推進事業の実施

長野県から委託を受け「長野県障がい者社会参加推進センター」の運営を行い、障害者福祉団体と連携し、障害者の社会参加促進を図ります。

また、「長野県障がい者社会参加推進センター」のホームページを通して、社会参加促進のための情報提供を行うとともに、全国障害者総合福祉センターが主催する書道、写真コンテストの周知を図り参加を促進します。

(2) 障がい者社会参加推進協議会の開催

「長野県障がい者社会参加推進センター」の業務を推進するため、障害6団体の代表による協議会を開催し、各団体の要望を知事との懇談で伝えます。

(3) 障害者福祉団体地域連絡会議の開催

障害者の多様な要望を把握するとともに、地域の関係団体の連携を図り、障害者の自立と社会参加を推進するため、県内4ブロックで開催します。

4 協会事業の推進

(1) スポーツ大会・文化芸術祭への参加

ア スポーツ大会への参加

県及び公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会等が主催する各種スポーツ大会に係る情報の周知を図り、参加を促進します。

イ 長野県障がい者文化芸術祭への参加

県及び障害者福祉関係団体で構成する実行委員会により開催される「長野県障がい者文化芸術祭 in ながの」（長野市のサンアップルで令和4年9月24・25日に開催予定）に積極的に参加することにより、障害者の社会参加を促進します

(2) 上田点字図書館の運営

視覚障害者の福祉向上を図るため、上田点字図書館の運営と利用者へのサービスの充実に努めます。

(3) ブロック会議への助成

各ブロック単位の会議・活動に対し、郡市協会の結束と組織の強化を図るため助成します。

(4) 健康教室への助成

会員の健康の維持・増進を図るため、女性部が主体となって運営する健康教室の開催経費を助成し、会員相互の連携に努めます。

(5) 関係団体との連携

本会を構成する県視覚障害者福祉協会及び県聴覚障害者協会と連携を密にし、協会事業の推進を図っていきます。

(6) 収益事業の促進

県及び郡市協会活動の資金とするため、会員をはじめ地域の皆様の協力を得て、日身連収益事業所の斡旋するお茶、日常生活物品のカタログ販売等の収益事業を一層促進します。

5 大会・研修会等への参加

日身連・中央社会参加推進センター・日本障害者フォーラム（JDF）等が主催の大会・研修会等へ参加し、今日的課題と全国的運動の状況を把握し、協会活動に生かし、会員に情報提供します。

6 行政への要望活動の強化

会員の声を集約し、障害者差別を解消するための県条例の確実な実施等、障害者施策の充実にについて、長野県へ要望していきます。